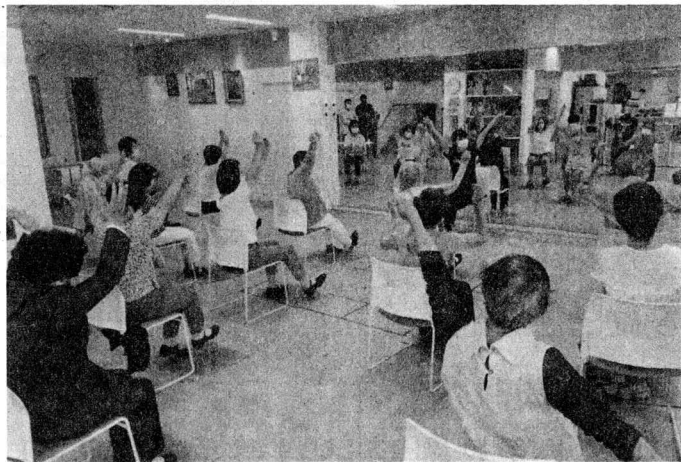


令和4年6月5日、豊中市にあるサンヨーホームズが運営する「サンアドバンス緑ヶ丘」へ伺いました。

先進の介護施設を見学



椅子に座わりながら楽しくタップダンス

“寄り添いロボット”が活躍



説明を受ける見学の参加者

施設全体が解放感あふれるガラス張りになっており、何かのスタジオのような雰囲気と素敵でしる。老健施設のイメージが大きく変わりました。当日は、デイサービスの一環で椅子に座わりながら行うタップダンスにも体験参加をさせて頂きました。タップシューズに履き替えて、全員が初めて挑戦です。つま先を上げ、かかとを落とすをくりかえして、軽やかな音が出るはずが、何故か足が絡み、ハチャメチャで笑い合いながら、心地よい汗をかきました。

事務所に移り、介護ロボットの説明をして頂きました。私は当初の印象では、人型ロボットが介

護をする様子进行像してありましたが、この時のロボットは「寄り添い」

型で、ベスト風のジャケットに組み込まれたAIが「転倒させない」ではなく「ゆるやかに転倒させる」怪我をさせないとの発想で開発されたものでした。転倒時の衝撃をからしは緩和できるとの事でした。施設内に移動し、実際に体験しました。おしゃべりなジャケッ

ゆるやかに転倒させて怪我を防ぐ

る特別感、着心地の良さなどを、こだわりデザインされておられるよう

の事で、右肩上りの高齢者社会の中で、自宅に住み続けたいとの想いに応える一環であると思致しました。しかし、現時点では日本の住宅事情を考えると、改修工事も含めて、多額な費用が発生し、とり入れるご家庭は少ないのではと思いました。

又、高齢者だけでなく、「筋ジストロフィー」「パーキンソン病」の方にも利用できることもあり、国土交通省の補助金もあるため、新設の介護施設などへの導入は考慮すべきではないながら施設を後にしました。

サンアドバンスのデイサービスでは、希望者に新しい試みとして、フルコース食事を、正装し日常とはなれたコンセプトで、お出かけをされることを試み、出席者全員が、楽しいひとときを過ごされたとお話伺いました。

年を重ねても、楽しい日常を自分が参加できるのを、お手伝い介護をしてくださる優しさに、施設運営の原点があると思います。ありがとうございます。サンアドバンス様、細井様に感謝です。